

## 第6章 今後の取り組み

## 6-1. 取り組みの進行管理

本プランに基づく取り組みについては、Plan(計画) → Do(実行) → Check(評価) → Act(改善) の4段階を繰り返しながら、本プランを継続的に推進していく必要があります。

そのため、目指すべき公園緑地の姿の実現や各展開方針について個別目標を定め、定期的に進行管理を行い、必要に応じて実施メニューの見直しや追加検討を行います。

### (1) 目標年次

本プランの目標年次は、2027年度とします。また、適切な進行管理を行うために、途中段階で目標達成度合を確認する中間目標年次を2023年度とします。

### (2) 本プランの目標

本プランに基づく取り組みである重点プロジェクトについて、以下に示す目標を設定します。

① チャレンジングマルシェプロジェクト 参加事業者数

**年間 60 事業者以上<sup>※1</sup>**

② パークマネジメント協定試行プロジェクト 協定締結団体数

**21 団体以上<sup>※2</sup>** (中間目標：12 団体以上)

③ 公園緑地使いこなし情報充実プロジェクト ホームページアクセス数

**年間 7,000 件以上<sup>※3</sup>**

※1 1回当たり5事業者により、月1回の開催を想定

※2 公園愛護会へのアンケート調査において、公園緑地の運営管理に積極的に参加できたら良いと回答した公園愛護会の数

※3 平成28年度のホームページアクセス数の約2倍を想定

なお、本市の公園緑地に対する市民満足度については、今後アンケート調査を実施し、現況の満足度を把握した上で、目標値を設定します。

### (3) アドバイザーの体制づくり

本プランの実効性を高めるため、本市が取り組みについて相談し、助言を受けることができるように、外部有識者をアドバイザーとして委嘱します。

なお、アドバイザーは、公園緑地の運営管理や維持管理、まちづくりへの波及などについて、専門的なアドバイスを受けるため、それぞれの分野の有識者に委嘱します。

## 6-2. 事業のスケジュール

本プランは、概ね10年間の取り組みを対象とし、PDCAサイクルに基づいて適宜改訂を繰り返しながらより良いパークマネジメントを目指し、以下に示すスケジュールで進めます。

事業スケジュールとしては、大きく3つの期間に区分して取り組みを進めていきます。

前期（2018～2023年度）は「試行期間」として、各取り組みを進めるための詳細を検討したり、市民や関係機関との調整を行うとともに、取り組みの実践を通じて課題を抽出し、より良い取り組み方法を模索する期間とします。

後期（2024～2027年度）は展開期間として、試行期間を経て確立した取り組みを広く展開したり、本プランの改訂の必要性について検討する期間とします。

表 事業スケジュール

主な取り組み	事業スケジュール	
	前期 試行期間 (2018～2023年度)	後期 展開期間 (2024～2027年度)
実施メニューの推進	関係機関、市民との調整 先進事例ヒアリング 制度整備	メニューの実践 実施方法の確立 メニューの精査
重点プロジェクトの推進	試行対象公園緑地の選定 関係機関、市民との調整 制度整備	プロジェクトの試行 実施方法の確立 他の公園緑地への展開
公園別プランの作成	試行対象公園緑地の選定 関係機関、市民との調整 制度整備	公園別プラン作成 (対象公園緑地) ・自治会活動が活発 ・イベント実績豊富 作成手順の確立 他の公園緑地での作成
公園別プラン作成マニュアルの見直し		対象公園緑地それぞれの 状況に応じて見直し 適宜見直し
パークマネジメントプランの改訂		改訂の必要性を検討

中間目標に対する評価